

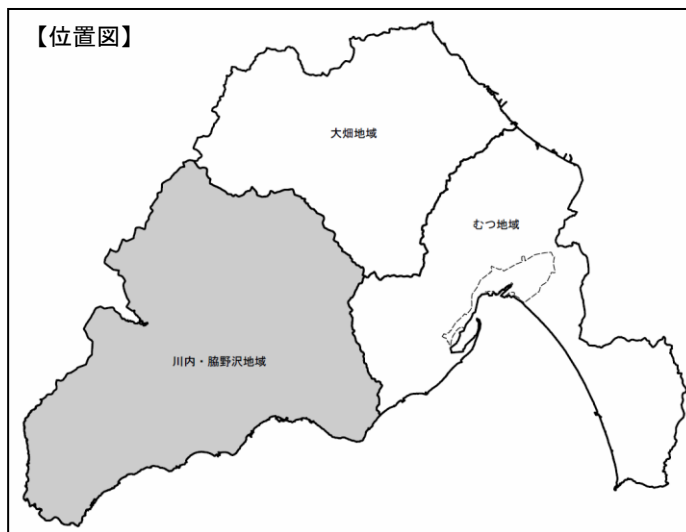
5-2-6 川内・脇野沢地域

(1) 地域の現況

〔位置、地勢・交通条件等〕

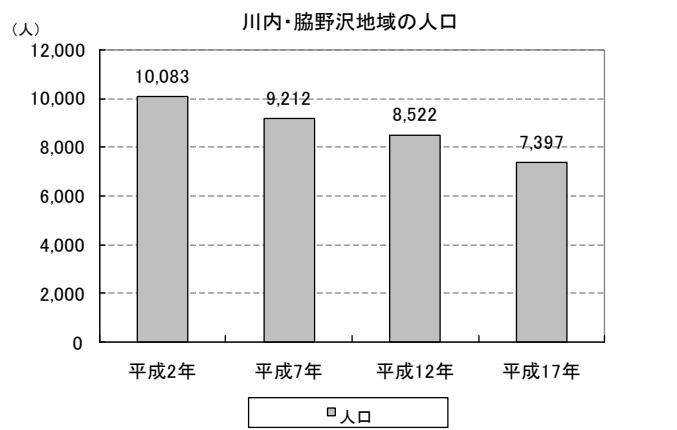
- 本地域はむつ市の西部に位置し、地域のほとんどは森林地帯となっています。
- 地域の南側の陸奥湾沿いに国道338号が通り、むつ地域や下北圏域の町村に連絡する主要な幹線道路となっています。
- 公共施設などの主要な施設は、国道338号沿いに集積しています。

【位置図】



〔人口の推移〕

- 川内・脇野沢地域の人口は減少傾向にあり、平成17年では7,397人となっています。
- 脇野沢地区の人口の増加率は平成17年では、-17.8%と、川内地区の-11.0%を下回っています。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
川内地区人口	6,881	6,193	5,747	5,117
増加率	—	-10.0%	-7.2%	-11.0%

資料：都市計画基礎調査

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
脇野沢地区人口	3,202	3,019	2,775	2,280
増加率	—	-5.7%	-8.1%	-17.8%

資料：都市計画基礎調査

〔土地利用現況〕

- 川内地区の土地利用面積（地域の一部）の構成比をみると、住宅地が14.5%で、田、畑、山林、その他自然地をあわせた自然的土地利用は57.1%を占めています。
- 脇野沢地区の構成比をみると、住宅地が15.8%で、田、畑、山林、その他自然地をあわせた自然的土地利用は43.7%を占めています。

	可住地(ha)						非可住地(ha)										計
	田	畑	山林	住宅	未利用宅地	商業用地(1)	商業用地(2)	工業用地	道路	道路以外の交通用地	公園緑地	水面河川湖沼等	公共・公益施設用地	神社仏閣	その他自然地		
川内地区	34.6	76.8	115.8	78.8	14.7	13.7	8.3	12.4	40.3	15.4	6.5	14.3	24.3	4.2	82.6	542.7	
構成比	6.4%	14.2%	21.3%	14.5%	2.7%	2.5%	1.5%	2.3%	7.4%	2.8%	1.2%	2.6%	4.5%	0.8%	15.2%	100.0%	
脇野沢地区	5.7	22.2	9.5	21.0	4.4	5.2	2.8	4.2	16.3	4.1	3.1	3.3	8.7	1.6	20.4	132.5	
構成比	4.3%	16.8%	7.2%	15.8%	3.3%	3.9%	2.1%	3.2%	12.3%	3.1%	2.3%	2.5%	6.6%	1.2%	15.4%	100.0%	

資料：都市計画基礎調査

〔主要な施設〕

- 行政施設はむつ市役所川内庁舎、むつ市役所脇野沢庁舎が立地しています。
- 教育・文化施設は第一川内小学校、川内中学校、脇野沢小学校、脇野沢中学校、県立大湊高等学校川内校舎が立地しています。
- レクリエーション施設はふれあいスポーツパーク、かわうちまりんぴーちが立地しています。
- 公園は愛宕山公園、野猿公苑、鯛島海中公園が立地しています。
- 医療福祉施設は国民健康保険川内病院、国民健康保険脇野沢診療所が立地しています。
- 観光交流施設は山間部に湯野川温泉、かわうち湖、道の駅「わきのさわ」「かわうち湖」が立地しています。
- その他、脇野沢漁港、川内漁港が立地しています。

(2) 地域づくりの課題

地域づくりの課題について以下の図にまとめました。

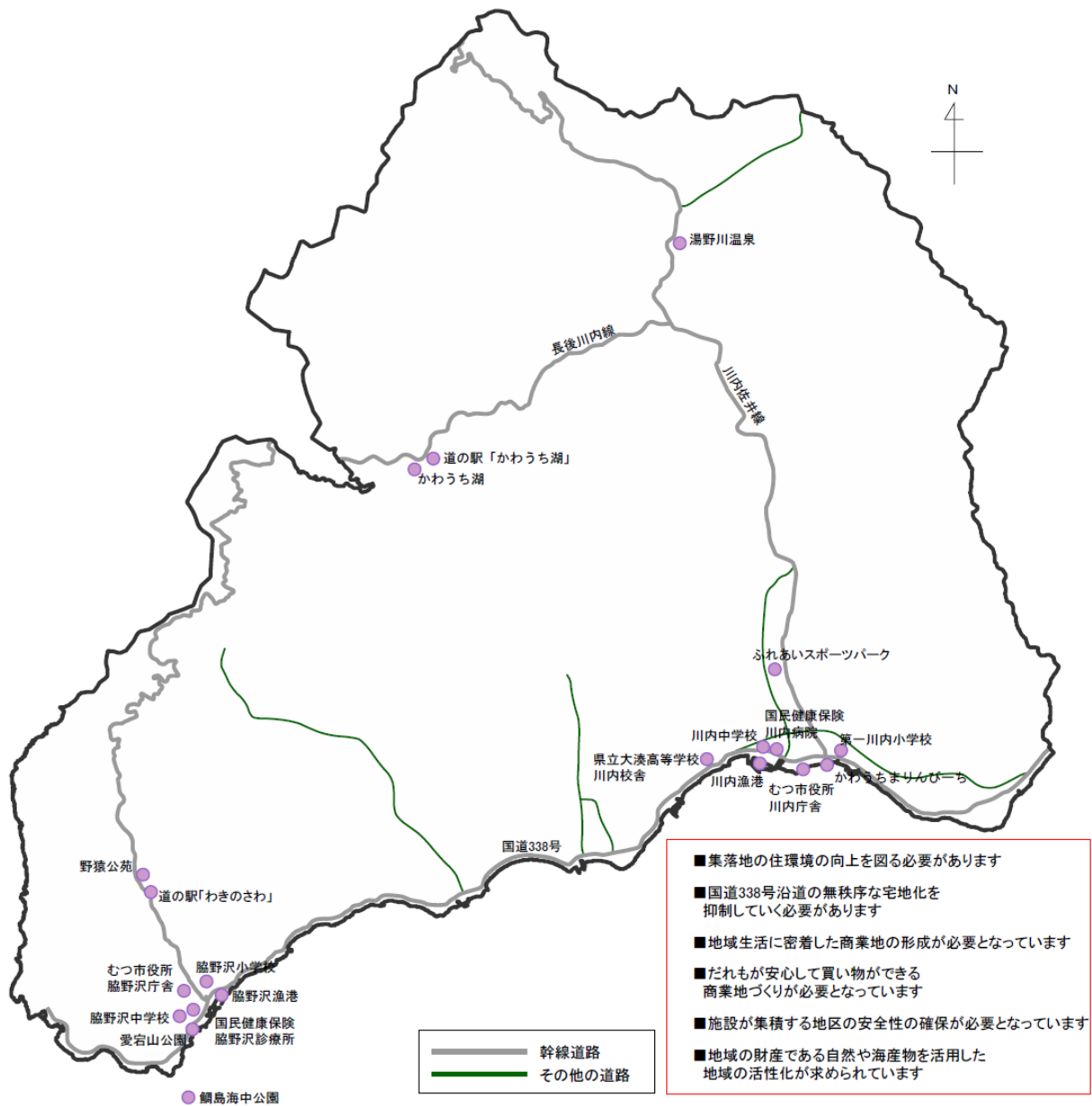
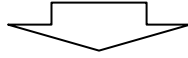


図 地域づくりの課題図

(3) 地域づくりのテーマ

■地域のキーワード

・ 広大な自然環境 ・ 脇野沢地区のシィライン ・ 豊かな海産物 ・ 湯野川温泉



【川内・脇野沢地域の地域づくりのテーマ】

大自然を活かした下北の「食」を創出する地域

(4) 地域づくりの整備・保全等の方針

1) 土地利用の方針

- 地域南部の国道338号沿道は無秩序な宅地化を抑制し、適切な土地利用の規制・誘導を図ります。
- 川内地区、脇野沢地区の自然共生集落エリアは、自然環境を保全し、それらと共生するゆとりある生活環境の維持を図ります。
- 川内地区、脇野沢地区の地域生活商業エリアは、地域住民の日常生活を支える食料品や日用品などが充実した商業地の形成を図ります。
- 地域生活商業エリアはだれもが安心安全に買い物ができる歩道空間の確保を図ります。
- 地域の豊かな海の幸、山の幸を活かした「食」による観光の振興を図ります。

2) 都市施設の方針

①交通施設

- 公共施設や小中学校の周辺においては狭小幅員や行き止まり道路の解消、歩道の確保、冬季対策など、生活道路の改善を進め、安全性の確保と歩行者、自転車にやさしい道路づくりを目指します。
- 地域住民の日常生活を支えるバス交通は、運行ルートなど事業者と連携しながら検討していきます。
- 商店街と連携したコミュニティバスの運行などについても検討していきます。
- 脇野沢地区の海上交通機能を維持、保全します。

②公園・緑地

- ふれあいスポーツパーク、かわうちまりんびーち、かわうち湖、愛宕山公園、鯛島海中公園、野猿公苑は地域住民の交流レクリエーションの場として機能の維持・保全を図ります。

③河川・下水道

- 下水道計画区域内の公共下水道の未整備区域においては、計画的な整備を推進します。
- その他の地区においても、汚水処理について整備計画、実施計画の検討を進めます。

④公益的施設

- 道の駅「わきのさわ」「かわうち湖」、湯野川温泉周辺は地域の観光交流機能の維持・保全を図ります。

3) 地域環境形成の方針

- 陸奥湾の海岸沿いの景観維持、魅力の向上を図ります。
- 本地域を象徴する森林地帯の自然環境を維持保全するとともに、平地部からの山並みを望む眺望景観の確保に努めます。

4) 地域づくりの方針

地域づくりの方針について以下の図にまとめました。



図 地域づくり方針図